

第I章
学校教育編

テーマ「ここがみんなのいいところ」

〔事例21:「学級における協力的な人間関係づくりと自主的なルールづくりの取組」に関連した取組事例〕

1 目 的

自分のよさを見つけられなければ、自分自身を肯定的に認めることが難しく、思いやりをもって友達に優しく接しようとする心情も育ちににくい。そこで、友達や高学年の児童、家族から自分のよさを認められ、友達のよさを伝え合う活動を通して、自他のよさに気づき、仲間を大切にしようなど、豊かな人間関係を築いていこうとする意欲や態度を育てる。

2 対 象 小学校中学年

3 所要時間・教科等 1～2時間／特別活動（学級活動）

4 準備するもの

- 高学年の児童や家族からのメッセージ ○ メッセージカード（P.6）
- メッセージ貼り付け用紙等（掲示用学級紹介・学級旗等）

5 進め方

(1) 展開

過程	学 習 活 動	時間	具体的な活動と 予想される児童の意識の流れ	指導上の留意点 ○支援 ◎評価
出 会 う	1 本時の活動を確認する。	5	○ 学級のよさを考える。 ● 明るくて元気だよ。 ● マラソンを頑張っているよ。 ○ 自分のよさを考える。 ● 元気にあいさつができるよ。 ● 思いつかないよ。	○ 学校生活の写真を前面に掲示し、学級のよさを考えるきっかけとする。 
			いいところを見つけよう。	
認 め 合 う	2 高学年児童や家族からのメッセージに触れる。	5	○ クイズ形式にし、誰に送られたメッセージなのかを当てる。 ● 家族思いの○○さんかな。 ● そうじをがんばっている○○君じゃないかな。	○ 高学年児童や家族からのメッセージから、いろいろな人が自分のよさを見ていることに気付かせる。
	3 友達のよさを見つける	15	○ 班の友達のよさを書く。 ● 走るのが速いね。（資質） ● いつも優しいね。（資質） ● 逆上がりの練習をがんばっているね。（努力） ● そうじをまじめにしているね。（努力）	→ワークシート①P6 ○ 「いいところ」には、「もとのよさ」（資質）と「がんばっているところ」（努力）、「よくなっているところ」（変容）があることを確認する。 ○ 後でメッセージを学級旗にはり

認 め 合 う	4 友達のよさを伝え合 い、カードを学級旗に はる。	15	●音読が上手になってきたね。 (変容) ●当番の仕事を忘れずにできるよ うになったね。 (変容) ○ 1枚のメッセージカードに友達 の一番いいと思うことを書く。 ○ 内容を相手に伝えながら、メッ セージカードを手渡しする。 ○ 気に入った一人1枚のカードを 学級旗にはり付ける。	合わせることを知らせる。 ○ 全員が同じ枚数のカードを受け 取れるようにする。
高 め 合 う	5 活動を振り返る。	10	○ 本時の活動を振り返っての自己 評価をし、感想を発表する。 ●自分のいいところを言ってもら いうれしくなった。 ●誰にでもいいところがいっぱい あるんだなと思った。 ●人によっていいところが違うこ とも分かった。 ●これからも友達のいいところを 見つけていきたい。 ●自分のいいところをもっと伸ば していきたい。	→ワークシート②P6 ◎ 改めて自他のよさに気付き、豊 かな人間関係を築こうとしている。

(2) 事後指導

ア 児童の感想を学級通信に載せ、家庭内の心の交流を更に深めるきっかけとし、更なる自己肯定感の形成を図る。

イ 友達のよさを見つけていつでも紹介できるように、「いいところボックス」を教室に常備し、新しいメッセージを随時紹介し、掲示する。

6 留意点

- 事前に、保護者や高学年児童へメッセージカードを依頼する際の書き方や文例を添えておく。
- 自他の「いいところ」を見つける活動では、「資質」のほか、「努力」や「変容」といった視点をもたせることが大切であり、今後の成長に向けた意欲にもつなげたい。

ワークシート①

友だちのいいところを発見しよう！

() 年 () 組 () 班 ()

☆ 友だちに伝えるように書こう。

(～だね。～がんばっているね。～ようになったね。など)

<記入例>

友だちの名前	いいところ ※一人に一つは見つけよう。	
	(もとのよさ→㊟ がんばっていること→㊦ できるようになったこと→㊤)	
〇〇 〇〇さん	走るのが学級で一番はやいよ。	㊟
〇〇 〇さん	朝の水やりを毎日がんばって続けているね。	㊦
〇 〇〇〇さん	練習して逆上がりができるようになったね。すごいね。	㊤

メッセージカード

さんへ

より

ワークシート②

ふりかえりカード (年 組) (月 日)

1 あてはまる数字に、一つ ○ をつけましょう (3そう思う 2どちらともいえない 1思わない)。

	ふりかえること	3	2	1
1	友だちのいいところをしんけんに見つけることができた。			
2	わたし友だちのことを考え、メッセージカードに書くことができた。			
3	気持ちをこめて友だちのいいところを伝えることができた。			
4	自分のいいところに気づいたり、分かったりしたことで自しんが高まった。			
5	これからも自分や友だちのいいところを見つけていこうと思う。			

2 感そうを書きましょう。

テーマ「ともに生きる」 ～高齢者医療施設等における交流活動の取組～

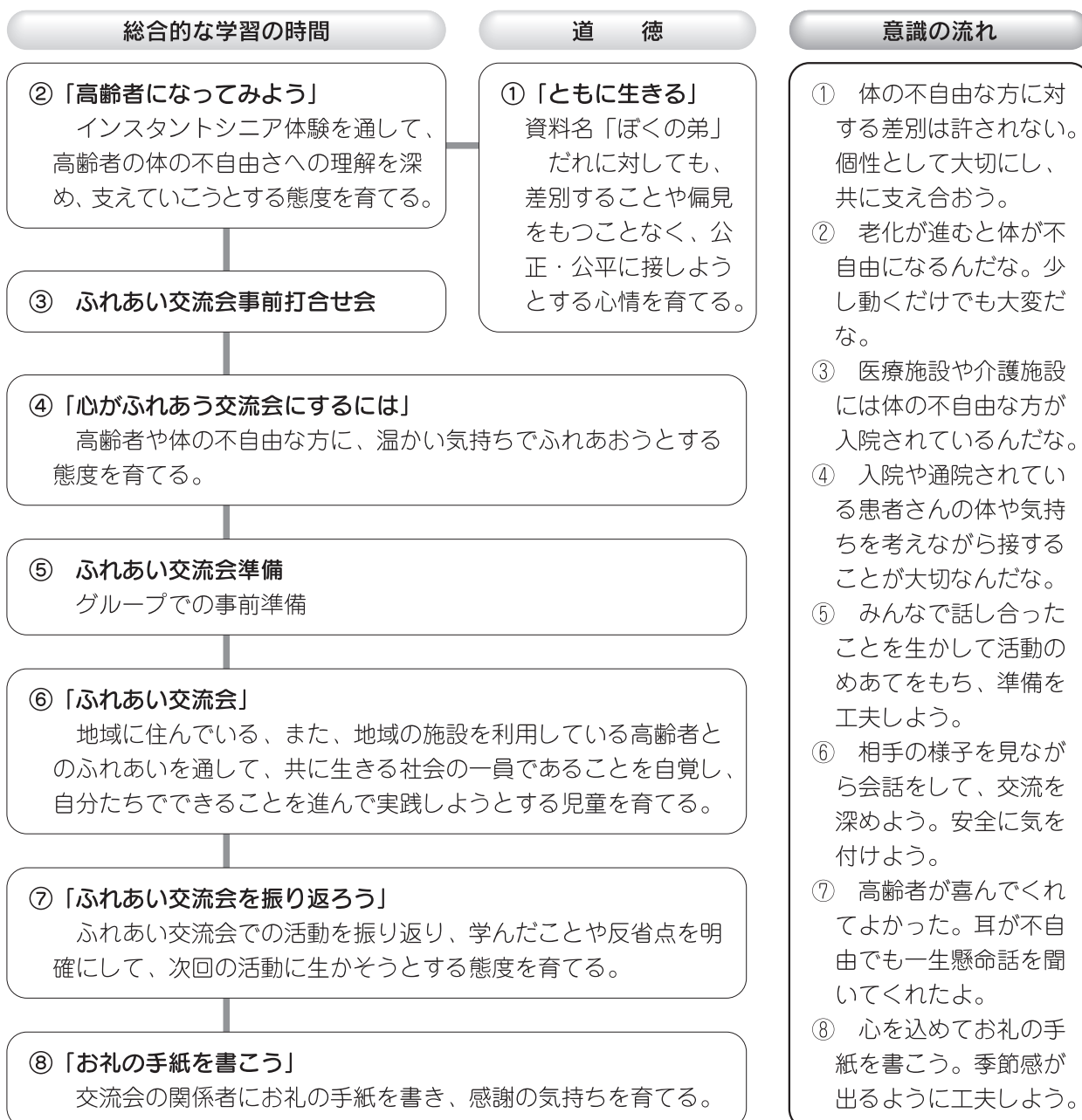
〔事例7:「福祉関係施設等における交流・ボランティア体験の取組」に関連した取組事例〕

1 目 的

高齢者医療施設等における交流活動を通して、同じ地域に共に生きる社会の一員であることを自覚させ、自分たちでできることを進んで実践していこうとする態度を育てる。

2 対 象 小学校高学年

3 所要時間・教科等 全15時間（総合的な学習の時間、道徳）



4 準備するもの

交流会の充実を図るために、自己紹介の内容や会話の話題を事前に用意したり、ゲームの説明や段取り、言葉掛けのシミュレーションをしたりしておく。

また、ゲーム等で必要となる用具（パズル、折り紙、魚釣りセット、ボーリングセット、風船等）を製作し、準備しておく。

5 進め方（総合的な学習の時間）

(1) 高齢者への理解を深める。

- インスタントシニア体験を通して、体の不自由な高齢者への理解を深め、配慮が必要な点や接する際の心構えを確認する。

(2) 各施設のスタッフと事前打合せ会を行う。（ワークシートP.9）

- 施設の様子やスケジュール、高齢者への配慮事項を確認するとともにスタッフの方が児童へ何を期待しているかも把握しておく。
- 計画している内容について、高齢者ができるかどうかスタッフに確認しておく。

(3) 交流会の見通しを立てる。

- 以前の交流会の様子を知り、見通しをもち個人のめあてを決める。

(4) 交流会の事前準備を行う。

- 高齢者が喜び、使いやすさにも配慮した用具を製作したり準備したりする。また、イラストを描く際には、季節感が表れるよう図柄等を工夫する。
- ゲームは、高齢者が楽しめるようなルールや段取りを考え、シミュレーションを行っておく。問題点はグループで話し合い、改善する。

(5) 施設を訪問し、交流活動を行う。

- 笑顔で積極的に高齢者に接し、声の大きさに配慮して話したり、高齢者の話に耳を傾けたりする。

(6) 活動を振り返り、お礼の手紙を書く。

6 留意点

- 児童にいろいろな思いの高齢者の方がいることを知らせ、相手の表情や会話の様子を受け止めながら、誠実に接していくことが大切であることを伝えておく。
- 児童の活動の前に行うスタッフとの打合せ会は、教師の学びの場であることを自覚する。

7 資 料

ワークシート例

訪問打合せ会の手順

- ① 担当のスタッフの方へ「よろしくお願いします」のあいさつをする。
- ② 自分たちがしようと思うメインの活動を決める。
 - ※ まずその活動ができるかどうか確認する。
 - ※ 第1希望ができなければ次の希望を提案する。
 - ※ メインの活動が決まったら、どの時間帯に入れるかを打ち合わせ、用紙に記入する。

- ③ その他の活動を決める。

活動場所	人数	担当者	活動が可能な内容
デイケア施設	7	〇〇	入浴介助、食事介助、ゲーム
通所リハビリ施設	7	〇〇	ラジオ体操、食事介助、ゲーム

- ※ 考えていたその他の活動ができるかどうか確認する。
- ※ その他の活動が決まったら、どの時間帯に入れるかを打ち合わせし、用紙に記入する。

- ④ 気を付けることを確認する。

例 ・スケジュールの確認 ・昼食（弁当）を食べるタイミング、場所を確認
 ・参加する高齢者の人数 ・企画しているゲームなどが高齢者にできるかを確認
 ・高齢者の病状や配慮することを確認 ・部屋の広さ ・テーブルの数
 ・ラジカセの有無 ・ホワイトボード、黒板の有無
 などを必要に応じて確認し、言われたことを用紙にメモする。

- ⑤ 準備物を確認する。

- ・ 爪を切ること ・ 給食着 など

はじめのあいさつ	終わりのあいさつ

（名前）

心がふれあう交流会にするにはどうしたらいいだろう

1. ふれあい交流会の様子を知る。
2. 話合いの議題の確認をする。
3. ふれあい交流会での不安なことを発表する。
4. 不安なことを取りのぞくためには、どんな努力や工夫、準備をしておけばよいか話し合う。
5. 昨年度のふれあい交流会の感想文を聞く。
6. 個人のめあてを立てる。

◎ ふれあい交流会の自分のめあてを立てよう。

めあて

<めあてに込めた思い・理由>

（名前）

ふれあい交流会のよかったところや直していききたいところをグループで話し合いましょう。

- 1 個人の反省
- 2 グループの話し合い
- 3 グループの発表
- 4 感想

<自分のめあて>

<めあてを達成できたか>

<ふれあい交流会でよかったこと>

<反省点・次に気を付けたいこと>

<お礼の計画>

<自己評価> (そう思う① 思わない⑤)

- 1 積極的にゲームに参加しましたか。 ① ② ③ ④ ⑤
- 2 積極的に高齢者と話せましたか。 ① ② ③ ④ ⑤
- 3 心がふれあいましたか。 ① ② ③ ④ ⑤